

新庁舎整備事業市民説明会 2021
意見交換結果概要（12月16日伊深地区開催分）

- 日 時 令和3年12月16日（木）午後7時～8時30分
- 会 場 伊深交流センター
- 出席者 13人（参加市民）
- 内 容
- 【質問・意見・提案等】
- ⇒【回答】

□新庁舎を整備する場所は、北から行く人にとって寄り付きやすい所が良い。美濃太田駅は伊深からでは少し遠いと感じている。駅の北側に駐車場を設けると思われるが、そこまで行く間に通る山手線はかなり混んでいる。

⇒道路は都市計画道路等を順次整備していく。美濃太田駅北側にある市商業ビル第3駐車場を整備し、ペDESTリアンデッキで来庁いただく仕組みをつくりたい。駅の南側にも十分な台数の駐車場を整備していくが、北からの来庁者のための整備についてももしっかり考えていきたい。

□太田町のことしか考えていない。前平の方が良い。太田地区の住民が市役所を離すまいとしているが、太田地区はこれから人口が減り、中部台はまだ増える。人口の多い所に市役所はあった方が良いと考える。

⇒太田地区は立地適正化計画でコンパクトエリアに指定されている。コンパクトエリアに様々な都市機能を集約させるだけではなく、サテライトエリアとしての伊深や三和等各地区の（仮）地域協働センターで様々な業務が完結するような、地域課題が解決できるような仕組みづくりをしていく。

前平に新庁舎を整備する場合、造成費だけでも約16億円かかる。1年の市の予算の内、建物建設や道路整備等ハード整備にかかる費用は15から25億円であるため、16億円もの費用を一度に使うのはどうかと思われる。市の政策として立地適正化計画は、コンパクトエリアに都市機能を集約させ、財政負担を減らし、将来少子高齢化になっても財政の健全化を堅持していくために立てている計画であるため、決して太田地区から市役所を離さないとかそういう考えではない。

□美濃太田駅の北口は電車やバスを利用する学生が多く、にぎわっている。駅を通じた南北を整備するということで、北側に分庁舎や生涯学習センターをつくってはどうか。

旧庁舎（現庁舎）はどうなるのか。生涯学習センターは駐車場が狭いので旧庁

舎の場所に移したらどうか。

サテライトの話は新庁舎整備と関係なく、来年度からでもできるのではない
か。予算や職員数等検討事項は多々あると思うが、山間部の住民としては新庁
舎よりも興味深いので、今後も情報を発信していつてもらいたい。

⇒美濃太田駅北側の整備については用地や費用の課題がある。大手町公園も含
めて北側の活用についてはこれからも考えていく。

今の分庁舎は、これからもできる限り長く使いたいと考えている。

現庁舎は新庁舎整備後に解体する予定である。現在は、現庁舎と生涯学習セン
ターの兼用駐車場であり、混雑等のご迷惑をおかけしているところだが、現庁
舎の跡地には公共公益的施設を整備できたらと考えている。

サテライトの考え方は伊深地区にとっても重要である。マイナンバーカード
の普及等により庁舎に人が来る機会はこれから少なくなると考えている。地
域のことを地域で解決していくことを進めていきたい。予算配分や人員配置
を検討していくが、伊深地区なら伊深地区の中で、サテライト機能が発揮で
きるような仕組みを皆さん方から色々な提案をいただきながら考えていきたい。

□太田（新庁舎整備の計画地）は断層の近くなのか。

⇒太田地区に限らず美濃加茂市としては、揖斐川・武儀川断層帯が関係してくる。
美濃太田駅周辺だと震度6弱くらいの影響があるだろうと言われている。液
状化については地下水位が非常に低いところにあるため、心配はないとされ
ている。いずれにしても、免震構造にするなど大地震にも対応していける庁舎
を整備したい。